

# 仕事

## COCCALA BAKE&CAFE 「コッカラ バイク&カフェ」

◀パン作りに励む山下さん



COCCALA BAKE&CAFE(コッカラ バイク&カフェ)  
営業時間/11時~17時30分(日・月・祝休み)  
場所/甲南町野尻431  
☎69-5167

「障がいのある人の支援としてではなく、おいしいからパンを買いに来てもらえるような地域に必要とされる店にしたい」と語るのは、所長の三日月雄介さん。地域の中に、障がいのある人が持っている力を最大限に発揮し活躍できる場を創りたいと、今年5月、甲南町野尻にパン工房「コッカラ バイク&カフェ」をオープンさせました。現在、障がいのある人3人と三日月さんを含むスタッフ4人がこのパン工房で働いています。



▶できたてのパンを店頭に並べる山下さん

**接客で人と話す機会が増え  
日常生活でも性格が  
明るくなった**

山下幸恵さんは、高校生の時に2年間学んだパン作りを生かし、オープン当初からこの工房で働いています。障がい福祉サービス事業所には、接客業があまりないため、接客のできるこの職場をとて気に入っています。「パンを販売していて、お客さんが自分の作ったパンをおいしいと言ってくれるとうれしい。接客で人と話すことが増えたので、生活でも明るくなってきたと思う」と笑顔で話します。

## 信楽くるみ作業所

障がい福祉サービス事業所「信楽くるみ作業所」では、焼き物の産地信楽で、信楽焼の手づくりから焼成、販売までを一貫して行っています。オリジナル製品の製造販売のほか、しがらき火まつりの記念メダル・ストラップ、信楽高原鉄道(SKR)の信楽焼干支切符などの製作も行っています。



▲干支切符を製作する信楽くるみ作業所の皆さん



▶インシシの親子がデザインされた信楽焼の干支切符

価格/1,380円/枚

信楽-貴生川間の大人と子ども各1人分の往復乗車券  
購入方法/信楽駅またはSKRホームページから購入いただけます。

**約3カ月かけて1300枚を製作  
信楽焼「干支切符」**

信楽くるみ作業所では、平成元年からこの干支切符の製作をしていて、今年で30年目を迎えます。

今回は、来年の干支「亥」にちなみ、インシシの親子が仲良く寄り添っているデザインで、利用者が約3カ月かけて、1300枚を作りました。

## すまいるかふえ

今年4月に市役所別館にオープンした「すまいるかふえ」は、市内4つの障がい福祉サービス事業所(ワークセンター)紫香楽、さわらび作業所、甲賀福祉作業所、つちやま福祉作業所)が日替わりで運営しています。

**お客さんも家族も笑顔に**

普段通う障がい福祉サービス事業所での仕事は内職が多いため、すまいるかふえはお客さんと接することができる貴重な場となっています。

4月にオープンし、今では少しずつ顔見知りのお客さんもでき、「今度はいつ来る?」「また来てね」など、ちょっとした会話も生まれ、笑顔があふれる和やかな雰囲気となっています。

すまいるかふえで働く障がいのある人の家族が、お店を訪れることもあります。「娘が初めてすまいるかふえで働くことになったときは、緊張からか、行くのを嫌がっていました。何度か行くうちに、慣れてきたようで、今では毎週楽しそうに通っています」と働いている様子をうれしそうに眺めていました。

**すまいるかふえ**  
営業時間/平日月~金  
10時30分~15時

場所/甲賀市役所別館1階



▲お客さんとの交流を楽しみながら接客するスタッフ

干支切符に関する問い合わせ  
信楽高原鉄道株式会社  
02-3336-1821  
http://koka-skr.co.jp/

